

ごみ減チャレンジ

おおいそ廃棄物減量化等推進員とは各地区から推薦された方が地区に対して分別や減量化の指導及び普及啓発を行います。

活動報告①

ごみの出し方に気を付けよう！

～集積場所でごみ出しの声掛けを行いました～



▲山王町 (12月11日実施)



▲長者町 (10月19日実施)

ごみ出しに来る人に分け方・出し方について声掛けを行いました。ほとんどの人が分別を守って出していますが、中には分別が分からずに出している人もいました。今回の活動を通じて継続して声掛けを行うことや地区の回覧等で分け方や出し方などの周知をしていく必要があると感じました。私たちが気付いた点を下記にまとめたので、今後のごみ出しの際には気を付けて出しましょう。

推進員が気付いたこと

気を付けて出そう！

カラス除けネットのある集積場所では、ごみをネットの中心に寄せるように出しましょう。

落葉や草を出すときはできるだけネットの外に出してください。(ネットの中に可燃ごみが入らなくなります。)

収集日でない日にごみが置かれていました。収集日を守って出しましょう。

カセットテープやビデオテープが不燃ごみの日に出されていました。これは可燃ごみ！間違えずに出そう。

容器包装プラスチックの中に汚れているものが混ざっていることがあります。汚れは落としてから出しましょう。

ペットボトルやビンを出すときはラベルやキャップを外して出しましょう。

空き缶類を出すときは袋から出してカゴに入れよう。袋のままではダメ！

ビン類を出すときは割れないようにしましょう。割れたビンは不燃ごみの日に！

通りすがりの人がごみを捨てていくことがあります。決められた場所に出そう！

ごみの減量に取り組もう！

～町内のスーパーで啓発活動を行いました～



▲たまや大磯店（12月21日実施）



▲ヤオマサ大磯店（1月26日実施）

スーパーの店頭でごみの減量や3Rの推進について啓発を行いました。

来店者に対してマイバックの使用や必要以上にものを買わないことなどを直接呼び掛けることができたので効果的に周知できたと感じています。

今後ごみに関する周知・啓発を継続していきたいと考えています。

家庭で取り組めること

実践してね！

- ・生ごみの水切りをしよう。
- ・必要な量だけを購入し、食べ残しを減らそう。
- ・マイバックを使用しよう。
- ・キッチンペーパーは使わず、ふきんを使用しよう。
- ・リサイクルショップやフリーマーケットを活用しよう。
- ・食べきれない野菜は下処理して冷凍しよう。
- ・生ごみ処理機等を使用しよう。(町の補助制度あります)

3Rとは？

ごみを減らすための3つのキーワードの頭文字です。

リデュース→ごみを減らす。
リユース →繰り返し使う。
リサイクル→資源として再利用する。

生ごみ処理容器を 安価で販売しています！

町からのお知らせ

～生ごみの自家処理に挑戦しよう！～

生ごみの自家処理を始めるには気温が高くなるこれからの季節がおすすめです。大磯町では大きく分けて3種類の生ごみ処理容器を安価で販売しています。また、引き続き電動生ごみ処理機の購入費補助制度も継続しています。ご家庭の環境に合ったものを選択し、生ごみの削減に取り組んでみてはいかがでしょうか。

購入をご希望の方は環境課までお問い合わせください。 ☎大磯町環境課（美化センター内）72-4438

キエーロ		ミラコンポ	コンポスター	
バクテリア de キエーロ 幅112×奥行68×高さ37～48 3,100円	ベランダ de キエーロ 幅92×奥行52×高さ74～88 3,600円	幅35×高さ55 1,800円	D-70型	1,300円
				130型 1,400円
				190型 1,500円
				
				▲190型